

英語 (筆記)

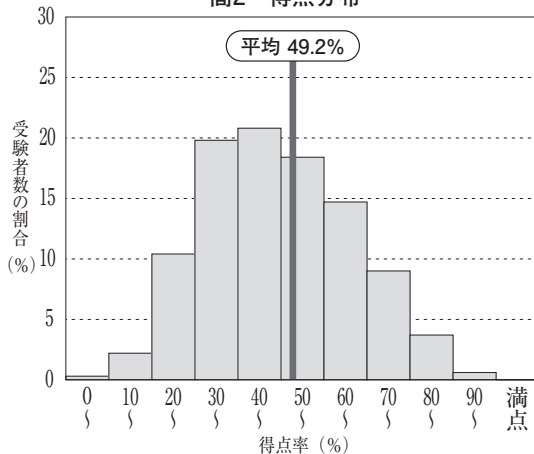
高1・高2生のうちにしっかりと基礎学力を固めよう

I. 全体講評

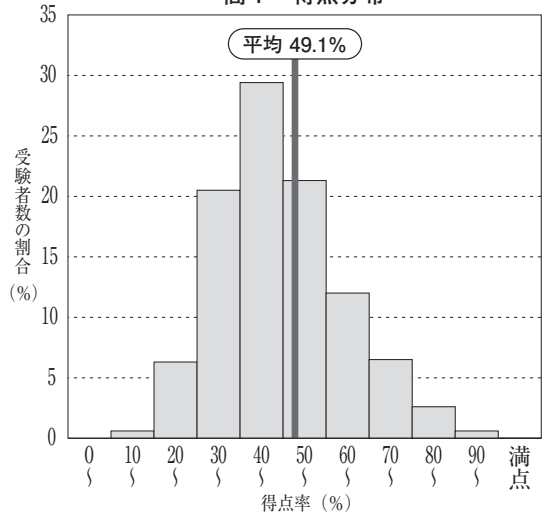
今回のセンター試験高校生レベル模試の平均点は高1生で98.2点、高2生で98.4点であった。今回の成績から、それぞれの学習分野における現時点の自分の到達度と課題を確認し、今後の学力伸長につなげていこう。

この模擬試験では、第1問・第2問の基礎知識の分野では学年を考慮しているが、第3問・第4問・第5問については、実際のセンター試験にほぼ近いレベルの問題内容となっている。したがって、高1・2生の今、成績が振るわなかった人も何ら悲観する必要はない。この模試の目的は、早期に大学入試の目標地点の一つであるセンター試験レベルを体験し、さらに現在の学力から目標地点までの差を知ることにより、学習意欲を高め次のステップにつなげることである。とくに一般的な公立中学のカリキュラムで学習してきた高1生には未習の事柄も多かったかもしれないが、この時期に全国の学生とともに本物のレベルを体験したことは今後の学習に必ず大きなプラスの効果をもたらしてくれるであろう。自信を持って一步一步これからの学習に励んでいこう。また、高2生で100点を下回った人は、既習済みの学習が不十分であるといえる。次回に向け、しっかりと学習計画を立てて挽回しよう。今回の得点分布は、次のようになっている。

高2 得点分布

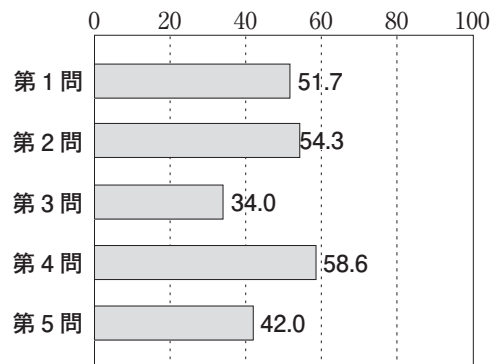


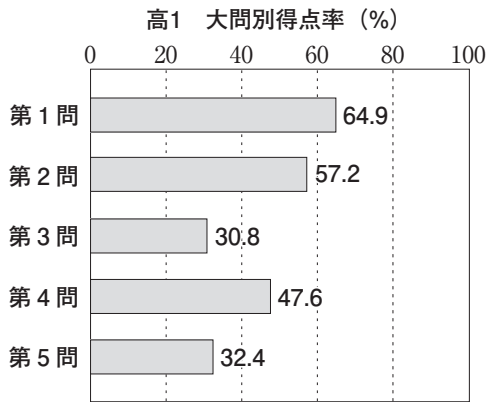
高1 得点分布



II. 設問別分析

高2 大問別得点率 (%)





両学年ともに得点率が最も低かったのは第3問である。ここは、文章の論理的構成を分かっているかどうかをみる大問である。解説を読み、どのようにアプローチすればよいかをしっかりと復習しておこう。以下、それぞれの小問における設問ごとの正答率と、特に注意すべき点を取り上げるので、各自で自分の課題をよく確認して今後の学習に活かしていこう。

第1問 発音・アクセント・文強勢
英語の正しい発音・アクセントを身につけよう。

第1問の得点率は、高1で64.9%、高2で51.7%である。第1問ABCは、発音・アクセント・文強勢の基礎知識を問う問題である。この分野では知識の蓄積が不可欠であるため、頻出のものは高1のうちからいねいに一つ一つ覚えていく必要がある。発音問題では、カタカナ語に引きずられた誤りが多かった。カタカナ語は英語の発音をカタカナで表記した日本語である。英語としては通じないので、日常語として浸透している分注意が必要である。小問ごとの正答率は以下の通りである。

高1
第1問A [発音]

マーク番号	1	2	3
正答	①	②	③
正答率	72.1%	33.5%	74.5%

第1問B [アクセント]

マーク番号	4	5	6
正答	②	②	①
正答率	48.8%	43.1%	39.9%

第1問C [文強勢]

マーク番号	7	8
正答	③	③
正答率	87.5%	2.9%

高2
第1問A [発音]

マーク番号	1	2	3
正答	②	①	①
正答率	63.5%	67.9%	20.5%

第1問B [アクセント]

マーク番号	4	5	6
正答	①	③	④
正答率	48.8%	32.7%	69.9%

1問C [文強勢]

マーク番号	7	8
正答	④	④
正答率	83.2%	80.1%

第1問で各学年の正答率の低かった問題を取り上げてみよう。

C
高1 ⑧ 正答率2.9%

X: Mary looks young in her new dress.

Y: ① But ② she ③ is ④ young.



A

高2 3 正答率 20.5%

- ①excuse ②exhaust ③exhibit ④exotic



高1の問いは文強勢を問う問題である。YはXの発言 Mary looks young に対し She is young と強く発音しているのである。前の情報を否定して新情報を伝える場合には、新情報を強調することを覚えておこう。高2の問いは下線部の発音がほかと異なるものを選ぶ問題であるが、日頃から英語を声に出して読む音読練習を続けているかどうかで差がついてくる。発音・アクセント問題については、頻出問題集などを利用して効率よくまとめて覚えるのも手である。

第1問 D・E 語彙 [単語・熟語]

日頃から少しずつ語彙の増強に努めよう。

単語・熟語は英語学習の基本である。当たり前のことではあるが、基本的な単語・熟語を知らずして英文を読み進めることはできない。学習が進み、難度の高い語彙はある程度文脈から意味を推測することにもなるが、その段階に達するまでは基本的な単語・熟語は覚えるしかない。今回問題にあるものは、どれも今のうちにしっかりと身につけてほしいものばかりである。正答率が低いものを下に挙げておく。正答できなかった問題については、ここで必ず覚えてしまおう。

高1

第1問 D [単語]

マーク番号	9	10	11	12
正答	⑥	⑦	⑧	⑥
正答率	99.3%	99.4%	99.2%	94.4%
マーク番号	13	14	15	16
正答	④	①	③	⑥
正答率	95.1%	86.2%	99.1%	51.1%

マーク番号	17	18	19	20
正答	⑥	⑦	⑤	⑧
正答率	59.7%	77.7%	95.3%	44.7%

マーク番号	21	22	23
正答	⑥	⑦	⑧
正答率	28.3%	22.2%	79.9%

第1問 E [熟語]

マーク番号	24	25	26	27
正答	④	②	⑤	②
正答率	98.4%	98.2%	81.7%	91.3%

マーク番号	28	29	30	31
正答	⑤	②	②	②
正答率	63.9%	94.6%	89.6%	16.3%

高2

第1問 D [単語]

マーク番号	9	10	11	12
正答	②	①	⑥	③
正答率	81.9%	82.3%	93.3%	94.4%

マーク番号	13	14	15	16
正答	⑧	③	④	④
正答率	39.6%	29.0%	84.7%	52.2%

マーク番号	17	18	19	20
正答	⑦	②	⑦	⑥
正答率	16.4%	22.8%	28.4%	27.9%

マーク番号	21	22	23
正答	⑤	⑦	⑧
正答率	26.8%	45.4%	30.9%

第1問 E [熟語]

マーク番号	24	25	26	27
正答	③	④	②	⑤
正答率	65.5%	41.2%	29.7%	30.4%

マーク番号	28	29	30	31
正答	③	①	③	④
正答率	17.1%	42.2%	18.6%	23.5%

Dの単語の問題で正答率が40%を下回ったのは以下の単語である。

高1: disease「病気」, endeavor「努力する」
 高2: preserve「保存する」, principal「主要な」,
 respectively「それぞれに」, assignment「宿題」,
 adapt「適応する」, definite「明確な」,
 inhabitant「住民」, enthusiastic「熱狂的な」

Eの熟語の問題で正答率が40%を下回ったのは以下の熟語である。

高1: so far「今までのところ」

高2: so far「今までのところ」, out of order「故障して」,
 in person「直接自分で」, on duty「勤務時間中で」,
 put on weight「太る」

第2問 文法・語法・整序作文・会話

文法・語法は英語の基礎である。

第2問の得点率は、高1で57.2%、高2で54.3%である。正答率40%に満たない問題がAの文法・語法で高1が4問、高2が4問、Cの整序作文では高1が2問、高2で2問あったが、Bの会話文では健闘していた。文法・語法は英語の基礎・基本となる。繰り返し問題を解き、着実に力を付けていこう。小問ごとの正答率は以下の通りである。

高1

第2問A [文法・語法]

マーク番号	32	33	34	35
正答	②	③	②	①
正答率	61.1%	46.0%	31.1%	29.3%

マーク番号	36	37	38	39
正答	④	②	①	④
正答率	40.8%	55.6%	40.7%	46.4%

マーク番号	40	41
正答	④	①
正答率	22.5%	32.7%

第2問B [会話]

マーク番号	42	43	44
正答	③	①	①
正答率	71.3%	69.1%	72.4%

マーク番号	45	46
正答	④	②
正答率	75.3%	89.0%

第2問C [整序作文]

マーク番号	47	48	49	50	51	52
正答	③⑤		③⑤		③④	
正答率	78.2%		15.2%		32.2%	

マーク番号	53	54
正答	⑤③	
正答率	49.0%	

高2

第2問A [文法・語法]

マーク番号	32	33	34	35
正答	②	④	④	④
正答率	47.7%	43.5%	55.3%	30.8%

マーク番号	36	37	38	39
正答	②	②	④	④
正答率	50.8%	38.9%	58.6%	35.1%

マーク番号	40	41
正答	③	②
正答率	54.2%	31.9%

第2問B [会話]

マーク番号	42	43	44
正答	④	②	③
正答率	79.4%	68.5%	78.2%

マーク番号	45	46
正答	③	④
正答率	51.4%	81.6%

第2問C [整序作文]

マーク番号	47	48	49	50	51	52
正答	②③		②⑤		④②	
正答率	41.7%		50.0%		2.4%	

マーク番号	53	54
正答	②①	
正答率	39.7%	

第2問で特に正答率の低かった問題を取り上げてみよう。

A

高1 40 正答率 22.5%

I would 40 remain here than go home.

- ① better ② later ③ prefer ④ rather



C

高2 51・52 正答率 2.4%

This textbook will 51 52 the students.

- ① be ② interest ③ little ④ of ⑤ to

高1の問いは、would rather～than… (…するよりも～したい) という構文を問う問題である。④以外の選択肢にばらつきがあるので、日頃からの語彙力増強に取り組もう。

高2の問いは、<of+抽象名詞>が形容詞句になることがポイントとなる。動詞のあとに形容詞句 of little interest (= not very interesting) を置くことを思い付かなくては正解にならない。語句の使い方について、しっかりと確認しておこう。

第3問 文脈把握 (推測・文整序・補充)

文脈の流れを読み、語句の言い表す内容を推測する。

第3問の得点率は、高1で30.8%、高2で34.0%と最も低かった。内訳は、AもBも40%に届かず、Cも2問が正答率40%に満たなかった。

第3問 A [語句の意味の推測]

マーク番号	55
正答	③
高1正答率	26.1%
高2正答率	30.2%

第3問 B [文整序]

マーク番号	56
正答	⑥
高1正答率	27.1%
高2正答率	30.4%

第3問 C [文補充]

マーク番号	57	58	59
正答	①	⑤	②
高1正答率	57.9%	21.3%	21.4%
高2正答率	58.9%	25.6%	25.1%

第3問で正答率の低かった問題を取り上げてみよう。

55 正答率 高1 26.1% 高2 30.2%

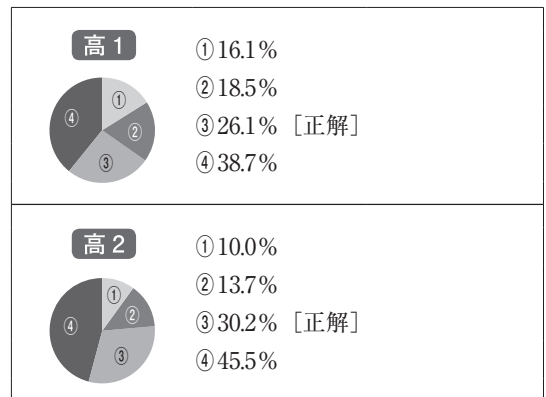
Sam : How was the picnic yesterday?

Jane : We'd just arrived at the picnic ground when it began raining cats and dogs, and we got drenched to the skin.

Sam : That's a pity.

Here, "cats and dogs" means 55.

- ① a little ② constantly
③ hard ④ suddenly



本問では会話の流れから cats and dogs の意味が分からなくても、会話の流れから語句のイメージがつかめるだろう。この形式の問いは、文章から語句の意味を類推する力が必要である。マイナスやプラスといったイメージだけでもつかめるよう演習を重ねよう。

第3問は説明文の読み方の基礎ができている

かを問う問題である。Aは前後の文脈から語句の意味を適切に判断する力、Bは代名詞、冠詞、接続語句などに注意しながら文と文のつながりを正確に読む力、Cはそれらに加えて段落を意識して読む力が試されている。BやCの問題は日本語に訳して意味のつながりを考える以上に、次に挙げるような英語の特徴に注目した「英文の組み立ての理解」が問われていることを認識しておこう。

- 代名詞などの指示語の内容を考える。特に、単数・複数の違いに注意する。
- 不定冠詞 (a) と定冠詞 (the) の違い (新情報と旧情報) を意識する。
- 接続語句 (つなぎの言葉) が作る文章構成・論理展開に着目する。

第4問 説明文と図表・説明文書などの読み取り 設問文を読み、解答に必要な情報をすばやく拾う。

第4問の得点率は、高1で47.6%、高2で58.6%である。両学年ともに健闘していた。

第4問A [説明文と図表の読み取り]

マーク番号	60	61
正答	③	③
高1正答率	62.2%	44.4%
高2正答率	68.2%	57.8%

第4問B [広告文の読み取り]

マーク番号	62	63
正答	④	②
高1正答率	30.9%	53.0%
高2正答率	46.6%	61.9%

実際のセンター試験の第4問では、2007・2008年に広告文、2009年に医療機関の説明文書、2010年にフライト・スケジュール、2011年は英字新聞の広告、そして2012年はコンサートの広告と実用的な題材で問われているが、説明文書・図表から必要な情報をすばやく拾い、問題を処理する能力が問われていることに変わりはない。見出しからどこに

どのような情報が掲載されているのか大雑把な見当をつけ、設問の解答に必要な情報を適宜読み取るのである。冒頭から訳しながら読んでいてはとうてい時間が足りなくなるし、そうしたことが求められているのではないことをよく認識しておこう。

第5問 長文問題

段落の論理的な流れ・構造を正確に掴もう。

第5問の得点率は、高1で32.4%、高2で42.0%である。内容一致問題を解く上では、先に設問を見て問われる箇所を把握しておく、時間が足りなくて解けないということを防ぐことができる。長文を読む力を、これからしっかり身に付けていこう。

第5問A [論説文の長文読解]

マーク番号	64	65	66	67
正答	③	①	④	③
高1正答率	44.3%	28.4%	37.9%	28.9%
高2正答率	57.4%	40.5%	43.9%	34.4%

第5問B [論説文の長文読解]

マーク番号	68	69	70	71
正答	②①④③			
高1正答率	22.5%			
高2正答率	33.9%			

長めの論説文を読む際には、第3問で述べたような注意点に加え、『段落』というものについての意識を明確に持つことが重要となる。途中で何が書いてあるのか分からなくなってしまう人は、段落ごとの要旨を把握し、接続語句などに注意して段落相互の関係を把握しながら読み進める必要がある。さらに、序論(テーマ)、本論(具体例)、結論というような『文章構造』を頭に描きながら読み進めよう。また長文を読む素地となる単語・熟語・文法・構文の力を、継続して高めていくことを怠らないようにしよう。

Ⅲ. 学習アドバイス

[1] 高1生へ

一般的な高校1年生を想定して、今の時期に大切なことを述べるので今後の学習の参考にしてほしい。

(1) 文法の学習

高校1年生の初期段階では、できるだけ早く文法の学習を一巡させることが優先課題になる。基本的な事柄に絞って学習し、早く全体像をとらえるようにしましょう。ただし、基本となる例文は何度も声に出して読み、手で書いて覚えるようにしましょう。

(2) 語彙の学習

最も肝心なことは、学習において音声面をないがしろにしない普段の心がけである。単語を覚えるときには必ず発音やアクセントも確認して、何度も声に出して言うことが大切である。誤りやすい外来語など、どこかの時点でまとめて学習することも有効だが、あくまでも日ごろの正しい努力の上に効果を発揮するものだと考えてほしい。

(3) 読解の学習

高校1年生の今の時期は、しっかりとした英語の地力をつけることに主眼を置いて学習してほしい。そのためのもっとも簡単な学習方法は日々の音読である。教科書などの英文と音声を使って、耳でよく聴き、それを真似て発音してみる。これを何度も繰り返すことで、英語の流れやリズムといったものが身体にしみこみ、本当の地力が養われていく。こうした地道な学習を今のうちに習慣化していこう。

[2] 高2生へ

一般的な高校2年生を想定して、今の時期に大切なことを述べるので今後の学習の参考にしてほしい。

(1) 語彙の学習

まずはセンター試験レベルの単語・熟語の学習を早急に終わらせるようにしましょう。『英単語センター1800』や『英熟語センター750』（いずれも東進ブックス）などの単語集・熟語集はまず一巡する。それで終わりにせず、工夫してテストを定期的に行

うこと。なお、単語を覚えるときには必ず発音やアクセントも確認して、何度も声に出して言うことが大切である。

(2) 文法・構文の学習

文法の学習が一通り終わっていない人がいれば、できるだけ早く修了しよう。文法学習が一通り終わっている人は、長文読解学習に入る前に「構文」の学習を行うことをすすめる。100～150程度の構文を扱ったものを使い、文法の復習をかねて例文をしっかりマスターしていこう。

(3) 読解の学習

英文読解には様々なテクニックもあるが、そうした技術的なことはある程度の地力があってこそのものである。必要な英語の地力をつけるもっとも簡単な学習方法は日々の音読である。教科書などの英文と音声を使って、耳でよく聴き、それを真似て発音してみる。これを何度も繰り返すことで、英語の流れやリズムといったものが身体にしみこみ、本当の地力が養われていく。こうした地道な学習を継続していこう。